

2020年9月1日

各位

東京都千代田区紀尾井町 3-12
アイティメディア株式会社
代表取締役社長 大槻利樹
(東証第一部、証券コード:2148)

国内最大級のバーチャル展示会 「ITmedia Virtual EXPO 2020 秋」過去最大規模で開幕

<https://corp.itmedia.co.jp/pr/releases/2020/09/01/ve20/>

アイティメディア株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:大槻利樹)は、モノづくりの最新テクノロジーやソリューションが集う国内最大級のバーチャル展示会「ITmedia Virtual EXPO 2020 秋」を、本日から9月30日まで、オンライン上で開催します。



ITmedia Virtual EXPO 2020 秋 EXPOマップ 会期 | 2020 9/1 火 - 9/30 水 24h

 展示会場Aへ →	 展示会場Bへ →	 展示会場Cへ →	 展示会場へ →	 講演会場へ →	 展示会場へ →	 講演会場へ →		
スマートファクトリー EXPO			メカ設計 EXPO			Building × IT EXPO		
 講演会場Aへ →	 講演会場Bへ →	 展示会場Aへ →	 展示会場Bへ →	 講演会場へ →	 展示会場へ →	 講演会場へ →		
組み込み開発&エレクトロニクス・AI EXPO			リテール&ロジスティクスサプライチェーン EXPO					
 展示会場へ →	 講演会場へ →	 展示会場へ →	 講演会場へ →	 展示会場へ →	 講演会場へ →	 展示会場へ →	 講演会場へ →	
製造業向けICT基盤 EXPO			設計・製造ソリューション EXPO			スマート&コネクテッド製品 EXPO		
Virtual EXPOの歩き方 →			ITmedia Virtual EXPO 2020 秋			9.8 火 13:00~ Cypress Semiconductor, An Infineon Technologies Company R&Dコストの大幅な縮小を実現しながら Time-to-Marketを加速! デバイスの進化だけではない、それを支えるIoTデバイス マネージメントソリューションとは? 事前登録受付中 →		
MacBook Air 他 抽選で豪華賞品が当たる ポイントラリー実施中! →								

当社は、2009年という早期からバーチャルイベント事業に取り組んでいますが、ITmedia

Virtual EXPO はその中でも最大のブランドです。

昨今、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い展示会の開催が困難な状況が続いていることから、情報収集、マーケティングの機会が大きく限定され、産業界にも大きな影を落としています。このような情勢下でのITmedia Virtual EXPOの開催は社会的な意義も大きく、本年は107社と特に多くの出展社にお集まりいただけたことで、来場者に数多くのテクノロジー／ソリューションに触れる機会をご提供することが可能となりました。出展社数、来場者数の記録を大きく更新する、過去最大の規模となる見込みです。

バーチャル展示会「ITmedia Virtual EXPO 2020 秋」概要

名称	ITmedia Virtual EXPO 2020 秋
会期	2020年9月1日10時から9月30日18時
会場	オンライン https://ve.itmedia.co.jp/em/2020a/index.html
主催	ITmedia Virtual EXPO 実行委員会
参加費	無料（事前の参加登録が必要です）
出展社情報	107社 出展ブース 116ブース 掲載動画 73本 (2020年9月1日現在) https://ve.itmedia.co.jp/em/2020a/sponsor
来場者数	4,000人想定

以下の8つのテーマ EXPO を併催します。

■メカ設計 EXPO 2020 秋

<https://ve.itmedia.co.jp/em/2020a/mecha>

3D CAD や CAE、3D プリンタ、そして設計環境のクラウド化など、設計者を取り巻く環境は刻々と変化しています。さらに、消費者ニーズの多様化や大量生産から多品種少量生産へのシフトにより、従来の枠組みにとらわれない新たな発想のアプローチが求められています。これら大きな変化の中、高品質で、価値ある製品を開発するためにはどうすればよいか。設計、開発現場で課題を抱えている多くの方々に向けて、新たなモノづくりの在り方を提案します。

[講演予定]

- ・ 1/1 スケール「ロビンマスク」に命を吹き込む、カスタムの精密鋳造技術
- ・ “G-SHOCK のカシオ” がなぜ美容分野？ 曲面印刷から生まれたネイルプリンタ

■スマートファクトリー EXPO 2020 秋

<https://ve.itmedia.co.jp/em/2020a/smart>

IoT や AI、ロボット技術や制御技術などの先進技術により、オートメーション化とデジタル化が同時に加速度的に進む変革の交錯点となっているのが工場です。個々の工程の自動化に加え、デジタル技術により工場内の各機器の接続と連携はもちろん、工場と工場、企業と企業でつながることで生産の自律化を実現する新たなモノづくりの姿が生まれます。工場の未来を実現する最新技術やシステムの動向、これらに伴う生産現場の変革の実情を紹介いたします。

[講演予定]

- ・協働ロボットは工場の“ニューノーマル”へ、その可能性と使い道
- ・AI を使った最終検査と開発

■組み込み開発&エレクトロニクス・AI EXPO 2020 秋

<https://ve.itmedia.co.jp/em/2020a/embedded>

組み込み機器の設計／開発にも、IoT や AI といった業界のトレンドが押し寄せています。とりわけ AI の分野では、消費電力やコスト、遅延といった観点から、エッジデバイスで機械学習を行う「エッジ AI」への注目度がますます高まり、大手半導体メーカーからスタートアップまでが参入し、競争が激化しつつあります。エッジ AI チップの動向を含め、組み込み機器のトレンドをご紹介します。

[講演予定]

- ・2020 5G スマートフォンの動向
- ・エッジ AI チップ研究開発動向

■Building × IT EXPO 2020 秋

<https://ve.itmedia.co.jp/em/2020a/building>

建設業界では、熟練技術者・技能者の高齢化や入職者の減少による次世代の担い手確保をはじめ、3K のイメージから脱却した働き方改革、2025 年に 2 割の生産性向上を掲げる国の施策“i-Construction”、さらには with/after コロナ時代の現場管理やリモートワーク普及に伴うオフィス空間の在り方など、将来を見据えた取り組みが急務となっています。そのため、解決の糸口とされる BIM/CIM といった 3 次元データや IoT、AI、ロボット、XR などの利活用には誰もが注目しています。今展では、建築・土木の業界が抱える問題をテクノロジーで解消するデジタル変革（DX）の最前線を多面的な角度から紹介します。

[講演予定]

- ・建設 IT ジャーナリストが聞く「鹿島スマート生産の最前線」
- ・デジファブで実現する“with コロナ時代”の建築モノづくり

■リテール&ロジスティクス サプライチェーン EXPO 2020 秋

<https://ve.itmedia.co.jp/em/2020a/retail>

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、社会全体に変革の波をもたらすだけでなく製造業のサプライチェーンにも大きな影響を与えています。地震や洪水といった災害とも異なるパンデミックという事態にも耐え得るサプライチェーンを構築するには、新たな視点のもとでIoT や AI といったデジタル技術の採用も必要になります。本 EXPO では、小売（リテール）や物流（ロジスティクス）をはじめ、製造業と関わるサプライチェーンの中でデジタル革新により新たな価値を生み出している分野の最新動向に焦点を当てます。

[講演予定]

- ・自動車や損保の大手と組むスマートドライブ、移動データでの強みを探る
- ・ポストコロナのリスクマネジメントの在り方

■製造業向け ICT 基盤 EXPO 2020 秋

https://ve.itmedia.co.jp/em/2020a/industry_ict

今製造業は人手不足や熟練工不足により、現場任せのモノづくりからデジタル技術を活用してのモノづくりへと大きな変化を迫られています。そんな製造業がレガシーシステムから脱却し、インダストリー4.0 を実現するために必要不可欠な ICT 基盤を紹介します。

■設計・製造ソリューション EXPO 2020 秋

https://ve.itmedia.co.jp/em/2020a/design_aws

モノづくりの根幹である設計業務と製造業務、この領域でもクラウドコンピューティングの活用がものすごいスピードで浸透しています。業務の効率化を図るため最新の IT を活用する、そのためにはクラウドが最適であり、既に多くのお客さまで設計データ/製造データをクラウドに Upload し活用しています。本 EXPO では、クラウドの柔軟性とすぐに利用可能な IT 部品群がいかにか DX を推進できるのかを、AWS のクラウドサービスを活用したデータ活用/業務変革事例や、現場での AWS サービスの使われ方を通じて紹介しています。

■スマート&コネクテッド製品 EXPO 2020 秋

https://ve.itmedia.co.jp/em/2020a/smart_aws

企業が製造したプロダクトからデータを吸い上げて業務変革に活用する。昔からよく言われていることですが、いまだに単なる稼働率のモニタリングにしか使われていないケースが多いです。装置のデータ/使われ方のデータから更なる付加価値を見出して業務効率化/新規サービスの提供につなげることが重要です。本 EXPO では、AWS のクラウドサービスを活用した Connected Vehicle のデータ活用事例やコールセンターとの連携事例の紹介、またモノ

づくりから出荷後製品のデータ活用まで製造業のライフサイクル全般にわたるデモンストレーションを用意しています。

以上

＜本件に関するお問い合わせ＞
アイティメディア株式会社 広報担当
電話:03-6893-2189 Email:pr@sml.itmedia.co.jp

■アイティメディア株式会社について <https://corp.itmedia.co.jp/>

テクノロジー関連分野を中心とした情報やサービスを提供する、インターネット専門のメディア企業。月間約 3,500 万ユニークブラウザで利用されています。IT 総合情報ポータル「ITmedia (<https://www.itmedia.co.jp/>)」、企業向け IT 製品の総合サイト「キーマンズネット (<https://www.keyman.or.jp/>)」、IT エキスパートのための問題解決メディア「@IT(アットマーク・アイティ、 <https://www.atmarkit.co.jp/>)」をはじめ、ターゲット別に数多くのウェブサイトを経営。IT とその隣接領域を中心に、各分野の専門的なコンテンツをいち早く提供します。

[東証第一部、証券コード:2148]